

みんなの ひろば

新しく着任した外国語指導助手

ケイシー・クーリッジさん

言葉の壁を越えて国際交流を



8月下旬から町内の小中学校で英語を教えている外国語指導助手のケイシー・クーリッジさん。アメリカのウィスコンシン州、バラブー市出身の23歳。卒業した地元のウィスコンシン大学では、言語学と音楽を専攻。特技はピアノを弾くこと。大学時代には趣味で作曲をしていたほど腕前を持つ。初めて訪れた雄武町の印象を「自然が豊かで自分の育った町に似ています。ぼくの町は内陸で海がなかったので、海がきれいで印象的に感じました」と自身の故郷と重ねる。

外国語指導助手になったきっかけについて「友だちが6年前に外国語指導助手をしていました。彼の話を聞くとすごくいい経験をしたんだなと思います、ぼくも挑戦を決めました」と振り返る。日本へ行くことを決めたもうひとつの理由、それは日本文化への関心だった。「墨絵の本を見て、それがすごくきれいだっただんです。これから先、日本の文化に触れること

がすごく楽しみ。何にでも興味を持ち、新しいことを体験するのが好きなんです。住んでいた町には日本料理店があつて、お寿司や生ものを食べたことがあります。それで日本食が好きになりました。雄武町ではぜひカレーを食べたいですね」と笑顔で話す。期待が膨らむ日本の生活。一方で不安な面もある。「日本語がまだあまり話せないで、不安を感じています。日本語は文法的にも英語とは違いますし、イントネーションで言葉の意味も変わります。そこが難しいところでもあります。そこが難しいところでもありますが、興味を持って勉強していきたいですね。最後に目標を「子どもたちには英語を楽しく教えることができると思っています。言葉の壁を越えて、外国語指導助手のモットーである国際交流に取組んでいきたい。機会があればピアノも弾いてみたいですね」と話してくれた。

クローズアップ
まちのひと

透析業務のスペシャリストを目指して

かわい ひろき 河合 広樹 さん
雄武町国民健康保険病院臨床工学技士



昨年の4月から雄武町国民健康保険病院の臨床工学技士として勤務する河合広樹さん（22歳）。出身は室蘭市。高校を卒業後、臨床工学技士を目指し、専門学校へ。「姉が看護師ということもあって、医療系の道に進みたいと思いました」と振り返る。主な業務は血液透析や医療機器の管理。「命を預かっているので、毎日緊張感を持って仕事をしていますが、スタッフ間の連携もしっかりとれていて、いい環境で仕事をする事ができています。患者さんからありがとうございます、この仕事をしてい

てよかったですね。将来的な目標は、透析や呼吸業務のスペシャリスト「認定士」の資格取得を目指している。「まだ透析業務しか携わっていませんが、経験や知識不足を感じています。まずはそこを埋めていけるようにがんばりたいです。皆さんから頼りにされる臨床工学技士になりたいですね」と話してくれた。

♣️性格
慎重というか深く物事を考えてしまう

♣️好きな女性のタイプ
明るい人、いっしょに居て楽しい人

♣️趣味
野球

小さな美術館

雄武小学校



↑「コロコロゲーム」



舘山 恵匠くん(2年)



↑「もぎたてやさいとくだもの」



栗山 琴和さん(1年)



↑「ドアプレート」



掛川原 凜さん(2年)



↑「きやつぶゆんぼ」



高橋 季幹くん(1年)

わんぱくキッズ



ゴカレッド

さとう ゆうだいくん



ドーナツ屋さん

かたぎり まゆちゃん



仮面ライダーV3

かまだ きょうすけくん

おおきくなったら
～若草保育所～